

地域政策課から、2月までの地域コミュニティ組織の活動状況を紹介します。

## 新玉地区

### 1月24日 赤十字防災セミナー

新玉地区まちづくり委員会防災分科会と新玉小学校広域避難所運営委員会との共催で、赤十字防災セミナーを開催しました。このセミナーは、自助・共助の力を養うことを目的とした参加型の地域防災プログラムです。新玉小学校に集まった参加者たちは、災害ボランティアや被災者の体験談を聞いた後、避難所運営ゲーム（HUG）を通して、大地震発生後の状況を体験しました。



## 下中地区

### 1月25日 みんなdeたこあげ!

下中地区まちづくり委員会の文化・教育分科会では、平成29年度から始まり、今年度で7回目を数える恒例の凧揚げイベントを開催しました。今回も100名以上の来場者で賑わい、大人も子どもも夢中になりながら、会場の空にはたくさんの凧が揚げられました。また、会場では甘酒が振る舞われたほか、子どもたちには参加賞となるお菓子が配られ、天候にも風量にも恵まれた充実したひとときを過ごしました。



## 富水地区

### 1月26日 防犯パトロール

富水地区まちづくり委員会防犯分科会では、富水地区飯田岡本村、若宮、飯中地区での防犯パトロールを実施しました（参加者10名）。富水小学校に分科会メンバーや自治会長が集合し、下校する児童や近隣住民に声をかけながら、約1時間、巡回した後、パトロールの状況についての意見交換や安全な通学路の確保についての話し合いを実施しました。



## 地域政策課

### 1月28日 小規模多機能自治推進ネットワーク会議 （関東ブロック会議）

本市は令和7年度から、地域の諸課題の解決に寄与することを目的として設立された小規模多機能自治推進ネットワーク会議において、関東ブロックの幹事市を2年任期で務めています。今回は、おだわら市民交流センターUMECOを会場に、地域自治とコミュニティ政策の在り方について考えるコミュニティ政策学会と共催で、関東ブロック会議を開催しました。当日は、日本労働者協同組合連合会理事長の古村伸宏さんから「地縁組織と協同労働の可能性」について、コミュニティ政策学会会長の名和田是彦教授から「若年層の地域活動参加を促進する仕掛けづくり」について、講演をいただきました。



## 下府中地区

### 1月29日 麻雀大会〔試行事業〕

下府中地区では、健康麻雀大会を実施しました。今回は、プレ大会として試行的に実施しましたが、次年度からは、まちづくり委員会の事業として位置付け、継続して開催する予定です。当日は、各自治会から2～3名ほどの方が参加され、指先と頭をフル回転させながら、真剣かつ和気あいあいとした表情で対局を楽しまれていました。



## 片浦地区

### 1月31日 防災講話

片浦地区まちづくり委員会の防災分科会では、片浦地区の災害特性を学ぶための防災講話を開催し、委員も含めて計49名が参加しました。当日は、防災対策課の津川専門監を招聘し、東日本大震災や熊本地震、能登半島地震などの実例をもとに、片浦地区の災害特性を踏まえた説明を受け、地域の防災力をさらに高める機会となりました。



## 国府津地区

2月4日 昔遊び

国府津地区では、小学校1年生を対象に昔遊び体験を行っています。子どもたちにコマ回しや、凧揚げ、お手玉、福笑いなどの昔遊びを通じて、子どもたちと地域の方が交流しています。子どもたちも地域の方たちもみんなが楽しい交流の場となりました。



## 酒匂・小八幡地区

2月8日 酒匂・小八幡フェスティバル

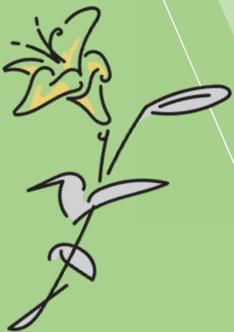
酒匂・小八幡地区まちづくり委員会の多世代交流分科会では、多世代交流を図ることを目的に、第2回酒匂・小八幡フェスティバルを開催しました。当日は、選挙や大雪と重なってしまい、参加人数の減少が懸念されましたが、酒匂ジョイフルクワイヤーによる歌唱、駄菓子屋や地域の医療・福祉現場で活躍する方々によるブース出展、キッズダンスの披露など、多くの地域住民で賑わいました。会場内は、降り積もった雪を解かすぐらい温かい空間に包まれ、地域の絆をさらに深めるひとときとなりました。



## 久野地区

### 2月15日 歴史遺跡巡り健康ウォーキング

久野地区各種団体代表者会の福祉・健康分科会主催で「歴史遺跡巡り健康ウォーキング」が開催されました。潮音寺を出発し、京福寺や久野1号古墳、白山神社、玉宝寺などを巡るコースを散策。県の協力により、(仮称)新坂下トンネルを見学させてもらえたことも大変好評でした。子どもから大人まで、参加者は久野の歴史に触れながら楽しく健康増進を図りました。



# 豊川地区

## アーバンデザインセンター小田原 (UDCOD) と連携した「お散歩マップ」活用事業

実施主体: 豊川地区まちづくり委員会第3分科会 (文化・歴史教育)

豊川地区まちづくり委員会第3分科会 (文化・歴史教育) では、これまで、地域への愛着を育む取り組みを行ってきました。

今回は、第3分科会とアーバンデザインセンター小田原 (UDCOD) が連携し、「お散歩マップ」を活用した事業の開催に向けた検討状況を紹介します。

### 第3分科会(文化・歴史教育)の取組

第3分科会は、地区内の分譲などにより増加した転入者や若い世代に、豊川地区の良さやスポットを知ってもらうことを目的に、平成28年度から活動を開始しました。

具体的には、豊川地区の文化や歴史について、平成29年度に「豊川地域の道祖神とどんど焼き」、平成30年度に「温故知新～豊川物語～2018」、令和元年度に「豊川地区のお祭り」、令和3年度に「続・温故知新～豊川物語～2021」をそれぞれ発行し、小学校を通じた家庭配布や自治会回覧などで周知を図ってきました。



### アーバンデザインセンター小田原とは?

アーバンデザインセンター (UDC) とは、課題解決型=未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォームです。

地域に関わる各主体が連携し、都市デザインの専門家が客観的立場から携わる新たな形のまちづくり組織や拠点として、全国で展開されています。

本市では、都市政策課が事務局となり、令和5年3月から「UDCOD」を組織し、豊川地区においては、「エイジフレンドリーシティ (AFC) の研究」をテーマに地域住民やまちづくり委員会と連携して新たなまちづくりを模索しています。

UDCOD



↑UDCODホームページより引用

## 豊川地区

# アーバンデザインセンター小田原 (UDCOD) と連携した「お散歩マップ」活用事業

実施主体: 豊川地区まちづくり委員会第3分科会 (文化・歴史教育)

## 「お散歩マップ」の作成



「エイジフレンドリーシティの研究」では、東海大学建築都市学部の後藤純准教授が中心となり、住民・まちづくり委員会の委員とともに3回のワークショップを重ね、4種類の「お散歩マップ」を作成しました。

今年度からまちづくり委員会としても、この「お散歩マップ」を活用して、豊川地区の魅力を再認識してもらえる取組を考えていこうと、第3分科会で検討を始めました。

## 「水の恵みと祈りの地～pre豊川さんぽ～」の開催

「お散歩マップ」に掲載された飯泉観音や二宮金次郎妻の実家などのスポットをまずは分科会のメンバーで下見し、ルートを確認しました。

その上で、1月31日(土)に他の分科会メンバーや自治会役員などを募り、「水の恵みと祈りの地～pre豊川さんぽ～」と題したウォークイベントを開催しました。

神奈川県のアFC担当者や県立保健福祉大学の研究員など関係者を含めて30人以上が参加しました。



## 今後に向けて

「水の恵みと祈りの地～pre豊川さんぽ～」開催後の第3分科会で、反省点や改善事項について協議しました。

来年度は、地域住民の参加を募って「豊川さんぽ」を開催することを目標に、引き続きUDCODと連携した取組を重ねていこうと考えています。